



2月園だより

令和5年2月1日
目黒区立原町保育園園長

1月下旬、ひときわ寒い日が続いていますが、街のあちらこちらでは紅白の梅の花が咲き始め、春の訪れを待ちわびています。

先日、幼児クラスでこま大会がありました。3歳児は手ごま、4.5歳児は紐ごまを使います。3.4歳児は各クラスで行い、それぞれ優勝者を決定しました。5歳児はホールが大会会場です。日頃から練習を重ねてきた子どもたちは「よし!がんばるぞ」という意気込みに満ち溢れていました。紐ごまを回すコツは、紐をしっかりとこまに巻き付けることが基本となります。投げ方も大事な要素となりますが、一番大事なことは“諦めないこと”です。くじけそうになっても友達が頑張る姿を見て何度もチャレンジし、「やればできる」ことを学んでいます。5歳児は子ども同士の対決に加えて職員とも対戦しました。相手が職員となると俄然闘志を燃やし、真剣な眼差しです。3.4歳児も応援に加わり、白熱したこま大会でした。

2月は節分行事があり、園内の階段や玄関には紙袋や箱、風船で型をとった張り子の鬼たちが並んでいます。鬼は怖いというイメージがありますが、一つひとつのお面をよく見ると、作り手の子どもに似ていたり、表情にも愛嬌があります。毎年、子どもの鬼と大人の鬼が登場し「おにはそと、ふくはうち」と、怖いながらも手作りの新聞紙豆を投げて、心の中の鬼も退治する保育園では欠かせない行事の一つです。これからも、たこあげやかかるた、福わらいなどのお正月遊びも含め、日本の伝統行事を継承していきたいと思えます。

2月は“逃げる月”といわれるように、月日が経つのが早く感じられます。子どもの成長も目を見張るほどで、どのクラスの子どもたちも日々の生活や様々な経験を通して“自分でできる”ことがたくさん増え、遊びや行事でそれぞれの力を発揮しています。各クラスとも慌ただしくなる時期ですが、子どもたちが毎日元気に笑顔で「楽しいね」と過ごせるよう心がけていきます。



今月の予定

節分
お店屋さんごっこ
身体測定・避難訓練



懇談会の予定

- 1歳児クラス懇談会
- 2歳児クラス懇談会
- 4歳児クラス懇談会

※ 懇談会は3階ホールで行います。

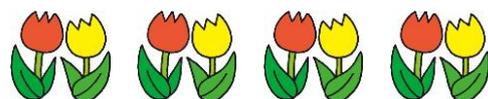
安心、安全な環境づくりを心がけて

用務

用務の仕事は洗濯、掃除、消毒、壊れたものを修理する等々、多種多様です。加えて大事にしていることは、園内を快適空間にすることです。

昨年6月10日、園長から520粒のひまわりの種を渡されました。どこに植えようかと思案し、なんとか園内の土がある場所すべてに植えることができました。発芽後はひたすら水やりに専念して50日後の8月1日、最初の1本が開花しました。その後、次々と咲き誇り、黄色の回廊になりました。園児や保護者の方にも喜んでもらえ、たくさんの元気や笑顔を届けられたことに育てた甲斐があったと感じました。

2月現在、昨年10月15日に植えた124個のチューリップの球根が芽を出してきました。くすのき組が卒園するまでには、何とか咲かせてみせましょう。赤、白、黄だけではありませんよ。ピンクにパープルなど新種のチューリップも数多くあります。ご期待ください。



お店屋さんごっこ

* 今月は幼児クラスでお店屋さんごっこを行います。制作の様子や各お店の紹介をお知らせします。*

さくら組（3歳児クラス） 『はじめてのお店屋さん』

休日に体験したことを再現して、店員役の人が「いらっしゃいませ」とメニューを広げ、お客さん役に「ご注文は何にしますか」「〇〇と〇〇ですね」「ご注文をくりかえします」と店員さんになりきって楽しんでいます。メニューを見て「少々お待ちください」と言葉でのやり取りができるようになってきた子どもたちは、食べ物屋さんを開きます。子どもたちと一緒に何をつくるか、お店にどんな物があるのかを考えると、ホットケーキ・ドーナツ・パン・ピザ・カレーができました。

日頃の制作の中で紙を切ったり、貼ったりする経験を積み重ねてきたので、色々な材料を使いながらイメージした物をつくって、店員さんやお客さん役になって、やり取りを楽しめたらと思います。



ほぶら組（4歳児クラス） 『おばけ迷路の設計図』

5つのグループでどんなお化け迷路にしたいのか話し合い、迷路の絵を描いてみることにしました。最初の話し合いでは意見が出ず、考え込んでいるだけでしたが「行き止まりにしよう」「ドアが2つあって、こっちは行き止まりでもうひとつは、おばけにしよう」などの意見が出るとイメージが浮かび、次々とアイデアが出てきました。グループごとに紙とペンを渡すと「ここに鬼がいるの」「目玉がたくさんあるよ」「マグマだから赤にしよう」などと色を塗りながら、おばけ迷路の設計図ができました。友達のアイデアを聞いたり、自分の考えを出す子どもたちはワクワクした表情で楽しそうに取り組んでいます。これから4種類の設計図をもとに、クラスで1つの迷路を完成させていきます。子どもたちが思い描いた通りになるかはわかりませんが、どんな迷路が完成するのか、子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。

くすのき組（5歳児クラス） 『皆のお店屋さんごっこ』

お店屋さんごっこに向けて、くすのきではどんなお店にしようかと皆で話し合っ
て進めています。制作することが好きなので、くすのきならではのおもちゃ屋さんを
することにしました。どんなおもちゃやさんにしようかと話すと、色々なアイデアが
たくさん出てきたので、案を絞って決めることになりました。最終的には多数決をと
って決まったお店ですが「やりたくない」「おもしろくない」という声があがりました。
「そんなこと言うのは悲しいよ」と口々に言う子どもたち。少し時間をおいてから個
別に話を聞くと「自分の物が選ばれないから、いやだった」とのことでした。そのこ
とを皆に話すと「私もそうだよ、皆で決めたから譲ったんだよ」という声や「そんな
んだね、皆がいいと思うお店にしたいね」という声もありました。友達に気持ちを聞
いてもらおうと、やりたくないと言った子どもも「おもちゃ屋さんでも良いよ」と譲っ
てくれました。クラスで一つのお店をやることへの気持ちが高まる中でも、一人ひと
りの思いを大事にしながらか話し合いを重ね、皆でつくりあげる喜びを感じていたら
と思います。

